

令和4年度使用中学校用教科用図書の選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
国 語	38 光村図書	<p>1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等</p> <p>国語科の目標を達成するために、教材を「本教材」「小教材」「コラム」「特設教材」で構成するなど、習得した「知識及び技能」を活用して「思考・判断・表現」を繰り返すことができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、新旧バランスよく教材を取り上げていたり、教科横断的な視点に立って構成したりしているとともに、1年生は「身近なもの」、2年生は「地域・社会」、3年生は「世界」といったコンセプトのもと、段階的に視野を広げながら学ぶことができる工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>古典学習では、美しい韻律を味わえるようにQRコードで朗読音声を聞けるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>「学習の窓」で「学習で用いる言葉」を説明し、生徒が学習用語を使用語彙として蓄積できるようにするなど、生徒にとって分かりやすい工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮</p> <p>「情報整理のレッスン」等において、新聞やネットニュースなど多様な媒体から必要な情報を的確に読み取らせたり、論理的思考力を養ったりする工夫が見られる。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書の選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
書 写	38 光村図書	<p>1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等 単元の構成に関しては、学習の流れを「考える」「確かめる」「生かす」などの段階に分け学習を進めることで、学習のめあてに到達させるような工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「文字を使い分ける」等を用いて、文字への関心を高めようとする工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 学習効果や使用上の利便性については、硬筆教材を別冊にしたり、QRコードを毛筆教材と同じページに掲載したりすることで、個に応じた学習を進められる工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 単元の冒頭「考えよう」において、文字の特徴や書き方について考えたり話し合ったりする活動を位置付けており、積極的に表現する力を高める工夫が見られる。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書を選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
地 理	2 東京書籍	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</p> <p>課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化され、単元を通して課題解決的な学習活動ができるようになっている。また、見開きで1単位時間ごとに学習課題が設定され、本文の理解を深める「地理にアクセス」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>各単元の導入において、地理的な「見方・考え方」を提示したり、キャラクターを用いて、単元全体を貫く「探究課題」を提示したりするなどの工夫が見られる。また、地理の学習に必要な資料の読み取り方やまとめ方を系統的に学習できるようにする「スキル・アップ」や、学習したことを確認できる「基礎・基本のまとめ」を設けるなどの工夫が見られる。さらに、多様な「思考ツール」を活用したり、先生キャラクターとの会話を通して、「見方・考え方」を活用した探究課題の解決を促したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>全ての生徒が読みやすく分かりやすくするために、ユニバーサルデザインの視点から、地図やグラフ等には鮮やかで明るい色を使うなどの工夫が見られる。</p> <p>また、他分野や他教科との関連を示す「関連マーク」が表示され、学習内容の関連性・系統性を意識したり、「二次元コード」を読み取って、インターネットを活用した振り返りや発展的な学習を行ったりできるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願い</p> <p>情報を的確に読み取り、考えを深め、判断するために、「集める」「読み取る」「まとめる」のコーナーを適切に配置するなどの工夫が見られる。また、積極的に表現する資質・能力を高めるために、「みんなでチャレンジ」を設け、自ら調べた情報をもとに話し合い等を行うことができるような工夫が見られる。</p>

種 目	発行者名	選 定 理 由
歴 史	2 東京書籍	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</p> <p>章の構成は、単元を貫く課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されており、単元を通して課題解決的な学習活動ができるようになっている。また、見開き1単位時間ごとに学習課題が設定され、本文の理解を深める「歴史にアクセス」コーナーなどで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」コーナーに取り組みめるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>主体的・対話的で深い学びを展開するために、第1編に、時期や年代の表し方を示したり、推移・比較・相互の関連等の歴史的な「見方・考え方」を説明したりすることで、その後の学習の手立てとして活用できる工夫が見られる。また、生きて働く「知識・技能」を習得するために、学習したことを確認できる「基礎・基本のまとめ」のコーナーや、歴史の学習に必要な技能を身に付ける「スキル・アップ」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。さらに、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、学習内容を「ウェビング」などの「思考ツール」を活用してまとめたり、文化史のコラム「もっと歴史」で思考を深めたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>全ての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、インターネットのデジタル資料を活用した学習ができるなどの工夫が見られる。また、ページ下の、学習内容を示す「チェックトライ」のコーナーで学習内容を振り返ったあとに、数ページ先の「探究のステップ」のページを示すなどして、発展的な学習が効率的に行えるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願い</p> <p>情報を的確に読み取り、考えを深め、判断するために、「まとめの活動」のコーナーを設け、思考ツールを使って学習内容を整理する工夫が見られる。また、積極的に表現する資質・能力を高めるために「みんなでチャレンジ」のコーナーを設け、思考したり、読み取ったりしたことを意見交換できる工夫が見られる。</p>

種 目	発行者名	選 定 理 由
公 民	東京書籍	<p>(1) 社会科公民的分野の目標を達成するために、章の構成は、課題をつかむ、課題を追究する、課題を解決するという流れで構造化されている。 また、見開きで学習課題が設定され、「みんなでチャレンジ」などで追究し、最後に、学習内容の定着を図る「チェック&トライ」コーナーに取り組めるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、主権者として社会に参画する態度を養う「18歳へのステップ」コーナーを設けるなどの工夫が見られる。 また、未知の状況に対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、章末で「マトリックス」や「ツールミン図式」等を活用し、自分の考えをまとめるような工夫が見られる。</p> <p>(3) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、資料に番号を付けて、本文と関連付けるなどの工夫が見られる。 また、他分野や他教科との関連を示す「関連マーク」が表示されたり、インターネットを活用した学習を行ったりできるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 問題解決に向け、主体的に学ぶことができるようにするために、「探求課題」、「探求ステップ」、「学習課題」の3段階で問いや課題を構造化し、細かいステップで課題を解決していくことで、主体的な学びを保障する工夫が見られる。 情報を的確に読み取ったり、積極的に表現したりする資質・能力を高めるために、「みんなでチャレンジ」などの対話的な学習の場面を設けることで、表現力を培う工夫が見られる。</p>

種 目	発行者名	選 定 理 由
地図帳	帝国書院	<p>(1) 社会科の目標を達成するために、巻頭では地図帳の構成や方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方を示している。 また、地理的分野の学習にあわせて、世界は州別に、日本は地方ごとに構成されており、地域の特色が適切に理解できる資料も多数掲載されるなどの構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得するために、地形図の見方を身に付けたり、日本と世界の位置関係が比較できるページを掲載したりするなどの工夫が見られる。 また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、SDGsの観点に基づいた資料や縮尺が統一した資料図を掲載するなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) すべての生徒が学習しやすくするために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、手話による地名の表現を掲載するなどの工夫が見られる。 また、地図帳の大判化（A4判）により、地域全体を見やすくし特色を捉えやすくしたり、修学旅行や校外学習等でそのまま活用できたりするような工夫が見られる。</p> <p>(4) 問題解決に向け、主体的に学ぶことができるようにするために、世界地図において、実際の地図と、世界各州のイラストがついた同じ国の鳥瞰図を併用し、二つの地図を比較しながら、物事を具体的、視覚的にとらえることができるようにする工夫が見られる。また、日本地図には、土地利用表現と等高段彩表現を併用し、調べる地方を具体的に調べることでできる工夫が見られる。 情報を的確に読み取ったり、積極的に表現したりする資質・能力を高めるために、「地図活用」コーナーや2次元コードを設け、生徒が諸課題について考え、よりよい在り方について検討したり、協働して取り組んだりすることができるような工夫が見られる。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書の選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
啓林館	61 啓林館	<p>1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等</p> <p>数学科の目標を達成するために、内容を精選した章末問題「学びをたしかめよう」や個に応じて活用する「もっと練習しよう」等を設定し、学習内容の習熟・定着を図る工夫がされている。</p> <p>また、数学を学ぶ意義や有用性を実感できる題材である各節の導入「学習のとびら」を設定し、生徒が主体的に学習に取り組めようにするなどの、構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>数学的な見方・考え方を働かせるために、適所に「？」を配置して、問題を広げたり深めたりする視点を示すことで、自ら問題を見つけ出す力を養えるようにするなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。</p> <p>また、学習内容がはっきりわかるように「例」「例題」のタイトルをつけ、スモールステップの展開にしたり、計算や式の変形を丁寧に示したりするなど、「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>さらに、「説明しよう」「話しあおう」では、自分の考えを他者に伝える場面や他者と自分の考えを比較して考えを高めていく場面を設けるなど、「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>学習効果や使用上の利便性を図るため、裏表紙の縦開きから始まる「自分から学ぼう編」を設定し、必修の部分と自分の興味に応じて取り組んでよい部分を明確にするとともに、生徒にとって分かりやすくするため、QRコードを掲載し、学習内容に関連した動画や詳しい解説を閲覧できるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願い、児童生徒の実態</p> <p>主体的に学び、情報を的確に読み取ったり、積極的に表現したりする資質・能力を高めるために、巻末の「自分から学ぼう編」を設け、家庭などの授業外においても主体的に学習を進め、学び直しができるようになっていたり、各単元の導入のページにおいて、実生活の場面を細かく設定し、生徒が主体的に学べる構成にしているなどの工夫が見られる。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書の選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
理科	61 新興出版社 啓林館	<p>1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等</p> <p>単元の導入では、「学びの見通し」と「学ぶ前にトライ」を設定し、身のまわりの疑問について考えさせ、単元の見通しをもつことができるよう工夫されている。</p> <p>また、課題の把握から解決までの探究の流れの各段階が、1つの流れとして図や写真とともに視覚的に分かるように示されており、生徒が探究を意識して取り組むことができるような構成・配列の工夫がなされている。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>各単元に「探Q実験」が設けてあり、この「探Q実験」に対応した巻末切り取りシートを活用することで、主体的・対話的に仮説や観察・実験の計画を立てたり、結果を整理し、分析・解釈したりすることができるようになっており、「思考力・判断力・表現力等」を育成するための工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>単元扉に大きな写真や図を配置したり、動画につながるQRコードを多く掲載したりするなど、生徒が学習内容への興味・関心、理解を高め、新たな気付きや疑問などを持ちやすくするなどの工夫がみられる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮</p> <p>ページの至る所、また表紙、裏表紙にQRコードが配置され、学習に役立つ情報や確認問題等を閲覧、確認することができるようになっている。</p> <p>また、つまずきやすい箇所では、「例題」を設定し、その考え方や計算方法などを示し、練習問題も用意されている。章末には、「基本のチェック」が設けてあり、基礎的基本的な学力向上を図る工夫がなされている。</p> <p>単元末には「学習のまとめ」や「力だめし」、「学年末総合問題」などが設定されており、学習内容の定着や習熟を図る工夫がなされている。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書を選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
音 楽 (一般)	17 教 出	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、全学年に、領域・分野ごとに構成された「学びのユニット」が示され学習のねらいに到達するための工夫が見られる。また、全ての教材に〔共通事項〕にある「音楽を形づくっている要素」を明記した学びの手がかりとなるヒントや、学びを深めるための曲や活動が示されており、系統的で、主体的な学びが展開できるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実 生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、全学年に「まなびリンク」「比べてみよう」「深めてみよう」が掲載され、学習の進め方が分かりやすく示されている。また、キャラクターの吹き出しに具体的な学習の進め方を載せたり、学習内容の後半にワークシートを設けたりして、「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全学年の目次の右下に「まなびリンク」としてQRコードが掲載されており、範唱の音源や雅楽師などの範奏の視聴等ができるように工夫されている。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 主体的に学ぶことと、表現を工夫したり聴き取ったりしたことを話し合うなど協働的に学ぶことを重視しており、具体的な学習活動例として、ACTIVE「進んで学び合おう」や「比べてみよう」のページを配置する工夫が見られる。また、これまでの学びを生かして、様々な音楽について特徴を理解することができるよう書き込み欄を設けたり、「話し合おう」を設定したりするなど、思考力・判断力・表現力を育む工夫が見られる。</p>

<p>音 楽 (器楽)</p>	<p>17 教 出</p>	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</p> <p>学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、各楽器についての基礎的な知識や奏法で演奏する曲をまとめた「演奏の仕方を身に付けよう」と、身に付けた奏法の活用をねらった「合わせて演奏しよう」が設けられるなどの構成・配列の工夫が見られる。また、我が国の伝統音楽については、口唱歌（唱歌）を取り入れたり、「唱歌について」というページを設けたりするなど、実感を伴った学びになるような工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>主体的・対話的で深い学びの実現を図るために、教材ごとに「学びのねらい」をスタート、「まとめの曲」をゴールと設定し、見開きで学習を見通せる構成になっており、主体的に学び合う活動が展開できるように工夫されている。また、身に付ける技能の模範となる演奏を試聴できる「まなびリンク」や「何が同じで、何が違う？」のページ、「話し合おう」のコーナーが設けられ、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成を図るための工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>学習効果や使用上の利便性を高めるために、「各部の名称」「姿勢とかまえ方」等のコーナーがあり、基本的な知識や奏法について、鮮やかでダイナミックな写真を多く使うなど、主体的に知識・技能を身に付けることができるように工夫されている。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮</p> <p>主体的に学び、情報を的確に読み取るために、楽器名・楽器解説、演奏者からのメッセージ、学習事項、活動事項など、必要な情報を写真や図版をより多く掲載するなどの工夫が見られる。また、学びを支えるWEBリンクを設置し、音楽表現を視聴・聴取したり、学習で使用する資料を準備したりするなどの工夫が見られる。</p>
---------------------	---------------	--

令和4年度使用中学校用教科用図書の選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
美術	116 日文	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</p> <p>美術科の目標を達成するために、中学3年間の美術科の学びを見通すことのできる「成長地図」の学習からスタートし、自分と向き合いながら、将来の生き方を意識できるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、美術1の巻末資料に「発想や構想の手立て」を示し、全題材において、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。また、生きて働く「知識・技能」を習得させるために、題材の冒頭に活動や目的を示し、造形的な特徴に着目することができるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>学習効果や使用上の利便性を高めるために、各題材に「造形的な視点」として対話が生まれるような問いを設け、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。また、題材の随所にQRコードを掲載し、見たい角度や距離感から立体作品を鑑賞することができるようにするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮</p> <p>問題解決に向け、主体的に学び、情報を的確に読み取ったり、積極的に表現したりする資質・能力を高めるために、題材は見開き構成となっており、インデックスや題材名、学びの目標等が示され、授業展開をイメージしやすくなるような工夫が見られる。また、「作者の言葉」を示しており、生徒が自らの表現に生かすことができるような工夫が見られる。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書の選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
技術家庭科 (技術分野)	9 開隆堂	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</p> <p>技術科の目標を達成するために、内容ごとに、生活や社会の中にある技術に気付かせながら知識・技能を習得させ、それらを生かしながら「課題設定→設計・製作等→評価」という系統立てた一連の流れで問題解決を図り、振り返りながら定着させるなど、構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>主体的・対話的で深い学びを展開するために、積極的に取り組める「導入課題」や、他者と関わりをもてる「実験」等を設定し、「知識・技能」習得のために、身近なもの結びついた技術の解説により、原理等の理解につなげ、それらを生かした技能について説明し、「思考力・判断力・表現力等」育成のために、学習を見通せるような「問題解決の流れ」、既習内容を生かせるように関連項目を示すなどの工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>学習効果や使用上の利便性及び生徒の興味関心を高めるために、理解しやすいよう実際に作業をしているような大きな写真や図版を用いたり、他の学習とのつながりを重視し、適切な場面で連携するために、「他教科」・「小学校」などのマークを用いたりするなどの工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮</p> <p>問題解決に向け、主体的に学び、情報を的確に読み取ったり、積極的に表現したりするために、自ら設定した課題を解決できる「生きる力」が身につくような「実習例」を、豊富に掲載するなど工夫が見られる。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書を選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種目	発行者名	選定理由
技術家庭科 (家庭分野)	9 開隆堂	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</p> <p>家庭科の目標を達成するために、章の初めに、「わたしの興味・関心」というページを設け、生活の中から問題を見出せるよう工夫するとともに、各単元を「本文」「ふり返り」「生活にいかそう」「学習のまとめ」で構成するなど、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し想像する力を育むことのできる構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>主体的・対話的で深い学びを展開するために、様々な場面において、写真や資料をもとに、話し合いが展開できるような「話し合ってみよう」を設け、実践的・体験的な活動を通して学習することができるような工夫が見られる。また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、単元を通して考えることができるように小単元の初めの発問コーナーや「生活の課題と実践の進め方」「実践のまとめ方」のページがあるなどの工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>学習効果や使用上の利便性を高めるために、各章の扉となる「わたしの興味・関心」では、見開きを使って実物大写真を掲載し、視覚からも学習の動機付けが図れるような工夫が見られるほか、QRコードが小題材内に掲載してあり、動画等を視聴して学習を進められるよう工夫されている。また、「豆知識」「他分野他教科」等のマークを設定し、様々な課題について意識して学習できるような工夫が見られる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮</p> <p>問題解決に向け、主体的に学び、情報を的確に読み取ったり、積極的に表現したりするために、「主体的」「対話的」「深い学び」の学習過程を通して多様な課題を設定し、教科書に沿って学習を展開できるような工夫が見られる。</p>

種目	発行者名	選定理由
保健体育	50 大修館	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等</p> <p>学年ごとに「体育理論」の1つの章と「保健」の2つの章でまとめてあり、学びと関わりのある「特集資料」を章ごとに設けるなど、生徒が主体的に学びを進めることができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>また、小單元ごとに学習の進め方や課題が明示され、「課題をつかむ」「身につける・考える」「学習のまとめ」という内容で、生徒が見通しをもって学習することができるような配列の工夫がなされている。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>生きて働く「知識・技能」を習得させるために、覚えておきたい専門用語を「キーワード」として明示したり、鮮明な写真やイラストで解説したりするなど、理解を深める工夫が見られる。</p> <p>また、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、深い思考を促す「関連」のコーナーや学びをもとに思考を深める「学習のまとめ」が設定してあるなど、実践力の基礎づくりとなるような工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>学習効果や利便性を高めるために、1単位時間の内容を見開き2ページに収め、時間の見通しをもって学習できる分量を掲載することで、学習内容を明確にするよう工夫されている。</p> <p>また、特筆すべき点として、ユニバーサルデザインに対応し、書体や色づかい、線の太さに配慮するとともに、大判の資料を充実させるよう工夫がなされている。</p> <p>4 地域の思いや願い</p> <p>必要な情報を読み取る力や活用して考えをまとめたり、深めたりする力を育成するために、1単位時間における資料とともに「特集資料」として本文の学習に関連した資料を豊富に掲載したり、思考を促すキャラクターの発言や、「体育の窓」や「保健の窓」を設け、見方・考え方を働かせて活動する場面を設定するなど読解力を高められるような工夫が見られる。</p> <p>また、1単位時間の学習において、「学習のまとめ」が設定されており、自分の意見を発表したり、グループで話し合ったり、友人にアドバイスしたり、社会の取組を調べたりするなど多様な活動を通して、表現力を高めるような工夫が見られる。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書を選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
外 国 語	9 開隆堂	<p>1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等 外国語科の目標を達成するために、各 Program を「とびら」「Scenes」「Think」「Retell」「Interact」で構成し、知識・技能の習得を図る工夫がなされている。 「Scenes」では、場面絵を用いて新出表現をまとめて導入したり、「Try」「Interact」「Our Project」では、即興で話す活動を通して表現力を高めたりする工夫がなされている。 また、「世界の中の一市民」として豊かな心を育むための「SDGs」に関連した題材や、フィンランド訪問、海外の屋台料理などの異文化理解に関する題材などを用いる工夫がなされている。</p> <p>2 内容や指導の充実 「Scenes」ではつながるストーリーの設定で新出表現がどのような場面や状況、目的で使用されるのか視覚的に理解できるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるように工夫がなされている。</p> <p>3 利便性の向上 自己表現に役立つ単語表現をまとめた「Word Web」や「Word Box」「Expression Box」、発音とつづりの関係を体系的に学ぶ「発音クリニック」など、学習効果や使用上の利便性を高める工夫がなされている。また、表現するための技能を身に付ける「Steps」やレッスン内の主な言語材料をまとめて確認できる「英語のしくみ」、本文の音声を読み込める「QRコード」を掲載し、生徒にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮 1単元を通して、各 Program の冒頭にコミュニケーション能力の Goal を明示したり、「Scenes」「Think」「Retell」「Interact」の構成の中で、段階的に活動の場面性をもたせたりするなど、主体的に学ぶ意欲が高められる工夫がなされている。 問題解決に向けて、「Retell」「Interact」の場面では、即興で話したり、目的や相手意識をもちながら自分の言葉で表現したりするなど、主体的にコミュニケーション能力の基礎が定着できる工夫がなされている。</p>

令和4年度使用中学校用教科用図書を選定理由書

教科用図書児湯地区採択協議

種 目	発行者名	選 定 理 由
道 徳	116 日本文教出版	<p>1 教科目標の達成及び教材の構成・配列等</p> <p>生徒が主体的に取り組めるよう、様々な諸課題について、テーマごとに教材が選定され、適切な時期に配列されている。</p> <p>また、道徳科の目標を達成するために、重要なテーマとして「『いじめ』と向き合う」「よりよい社会と私たち」を設置し、複数の教材やコラムをユニット化するなど、1年間の学習の流れを重視しながら、より深い学びが得られるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>2 内容や指導の充実</p> <p>重要テーマである「いじめ問題」については、時期を考慮し、生徒にとって身近な問題を扱った教材や、いじめへの理解を深めるコラムなどを複数配置し、主体的に自分との関わりで考えることができるように配慮されている。</p> <p>また、多面的・多角的に考えることができる学習活動を展開させるため、「社会への参画」と「将来の生き方」の視点から身近に起こりうる問題や社会で活躍する人々について、教材をユニット化するなどの工夫が見られる。</p> <p>3 利便性の向上</p> <p>巻頭に「道徳科で学ぶこと」や「道徳科での学び方」を設けることで、生徒に「考え、議論する道徳」の基礎・基本を理解させ、主体的に学習に取り組ませやすくするなどの工夫が見られる。</p> <p>また、別冊の「道徳ノート」は、生徒の学習状況や考え方の変化を毎時間記録することができるだけでなく、自分と友だちの意見を比べて考えを書くことができ、比較・共有につなげることができる。</p> <p>4 地域の思いや願いに対する配慮</p> <p>主体的に学び、情報を的確に読み取ることができるようにすべての教材文が「登場人物」「考えてみよう」「自分に+1」という3つのステップで構成されており、1時間の学習の流れと内容把握をしやすいような工夫が見られる。</p> <p>また、問題解決的な学習等の手法に適した教材には、「学習の進め方」を設け、別冊「道徳ノート」と併用させることで言語活動を充実させ、考えや話し合いを深めさせる工夫が見られる。</p>